

太田 えいじ



■太田えいじ後援会連絡先 〒700-0824 岡山市北区内山下 1-11-1 中国電力労働組合岡山統括本部内
TEL:086-223-0352 FAX:086-221-7224

ごあいさつ

2月定例議会で審議した令和4年度一般会計予算は、3,529億円（対前年度比88億円増）で、過去最高額となりました。歳入については、企業の業績回復傾向等により市税収入が増加している一方、地方交付税は減少しており、歳出についても社会保障関係費等が増加となっており、厳しい財政状況下です。経常的経費の抑制や大規模事業の進捗調整等により可能な限り収支不足の圧縮に努めた結果、岡山市の主な財政指標は、政令指定都市の中で概ね上位を維持しており、財政運営の健全性に配慮しつつ、必要な予算を編成できたものと考えています。

今後も、新型コロナウイルス対策、子ども・子育てを巡る諸課題の解消に向けた取り組みやデジタル化の推進等により、市民サービスの向上や行政事務の効率化に取り組んでまいります。引き続き、皆さんの声を市政に届けていきますので、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2月定例議会 代表質問概要

《質問事項》

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| (1) 市長の政治姿勢について | (9) 高齢者の雇用確保について |
| (2) さらなる高みに向けての行政改革について | (10) 賑わい創出について |
| (3) 児童虐待死事件について | (11) 観光振興について |
| (4) 人口統計について | (12) 公共交通の充実について |
| (5) ふるさと納税について | (13) 子育て・教育の充実について |
| (6) 安全・安心のまちづくりについて | (14) 成人式について |
| (7) 新型コロナウイルス感染症対策について | (15) 環境政策について |
| (8) 健康福祉の充実について | |

1. 行政のデジタル化について

Q. 行政からの一方的な発信だけではなく、道路の損傷等の情報提供を市民からいただく双方向のシステムの構築が必要ではないかと考えますがご所見をお聞かせください。



A. 道路損傷の対応は、定期的なパトロールに加え、市民からの電話等により情報提供を受け修繕を行っています。デジタル技術が急速に進展する中、岡山市では分野横断的な視点のもと、岡山市DX推進計画の策定を進めており、道路損傷の対応についても新たなシステムの導入について前向きに取り組んでまいりたいと考えています。（林 恭生 都市整備局長）

2. 新型コロナウイルス感染症対策について

Q. コロナ禍は丸2年経過し、その出口がまだ十分に見通せず、当分の間 with コロナ社会が続きます。感染対策と経済活動のバランスを取ることと同時に、深刻なダメージを受ける事業者や生活困窮者の実態には限りなく高いアンテナを張らなければなりません。来年度における新型コロナウイルス感染症対策、地方創生臨時交付金等の活用についてどのように考えるのか、ご所見をお聞かせください。

A. 令和3年度国補正予算により追加交付を受けた地方創生臨時交付金約26億5,000万円は、令和4年度当初予算において、米やノリの次期作継続応援金や中小企業への設備投資補助金等に約7億円を活用し、残り19億円を補正予算の財源として留保しています。今後の感染症の状況に応じ必要とされる経済対策や市民生活支援等について、影響を受けている地域経済の状況を十分把握し、迅速・積極的に取り組んでまいります。
(岸 学 財政局長)

3. ふるさと納税について

Q. ふるさと納税の返礼品について、フルーツ以外の第二の矢が必要ではないかと思えます。岡山城お食事プランや体験ツアー等、最近注目されている体験型メニューを追加してはいかがでしょうか。

A. 体験型の返礼品としましては、現在旅行券や食事券等があり、来年度はそれらを組み合わせることを考えています。今後は、ご提案内容も参考に、岡山を楽しんでいただけるメニューを関係部局や取りまとめ業者とともに検討してまいりたいと考えています。(岸 学 財政局長)

岡山城リニューアルオープン日決定

- 1573年、宇喜多直家が岡山城の前身である石山の城に居城を構え、まちづくりをはじめ今年で450年となります。このような節目の年に岡山城がリニューアルオープンいたします。
オープン日は、昭和41年の岡山城再建日と同じ11月3日(木)とすることが決定しました。
リニューアルオープン後には、新しくなった岡山城へ足を運んでいただければと思います。

新・岡山城 令和4年11月3日OPEN

令和4年2月10日
産業観光局観光部観光振興課

新しくなる岡山城は「歴史を伝える城、集う城」をテーマに
岡山の歴史を初心者にとっても分かりやすく発信、岡山城ならではの体験を提供していきます

「歴史を伝える城」

岡山市出身の歴史家・磯田道史氏監修
天守閣の展示を全面リニューアル

キーワード 「ひと」と「まち」

コンセプト 岡山の歴史の入口・拠点

ポイント
・歴史を「ストーリー」で伝える
・歴史を「映像」で伝える
・歴史を「体験」で伝える



「集う城」

イベントや夜間貸切など改修後の岡山城を舞台に
岡山城ならではの体験を提供

- 新しくなった天守閣をパーティーや懇親会などに夜間貸出(利用面積2倍以上、映像演出も)



- 多彩なイベントを積極的に実施



- 市民憩いの公園として利用促進

ex.ウォーキング、太極拳、ヨガなど

<展示イメージ>

B1F
岡山城
の魅力



6F
華頭窓と
眺望を再現



5F
岡山のまち
の成り立ち



4F
宇喜多父子
の物語



3F
関ヶ原合戦
と岡山



2F
池田家と
文化財



1F
体験展示と
多目的フロア

